
**2025年度（令和7年度）
日本大学大学院芸術学研究科
入学試験案内**



本案内は大学院芸術学研究科で実施する2025年度入学試験（外国人留学生入学試験・学部内選考入学試験・博士前期課程後期課程一般入学試験・社会人入学試験）の概要を掲載しております。

実際の出願に係る詳細な内容（入学試験受験資格・出願書類等）に関しては、順次公開される試験区分ごとの「入学試験要項」をご確認ください。

2025年度入学試験 ⇒ 2024年度中に実施する、2025年4月入学希望者の入学試験

● 外国人留学生入学試験要項

2024年6月中旬頃 日本大学ホームページにて公開予定

● 学部内選考入学試験要項

2024年9月下旬頃 日本大学芸術学部教務課窓口にて配布予定

● 博士前期課程一般入学試験

2024年8月下旬頃 日本大学ホームページにて公開予定

● 博士後期課程一般・社会人入学試験

2024年8月下旬頃 日本大学ホームページにて公開予定



※2024年5月現在は2024年度入学試験の情報が掲載されております



※2024年5月現在は2024年度入学試験の情報が掲載されております

日本大学学則及び教育研究上の基礎的な情報について

日本大学学則及び「入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）」・「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」・「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」等について、芸術学部ホームページでもお知らせしております。

<https://www.art.nihon-u.ac.jp/about/relations/>

※「学則等」については、ホームページ中程に記載があります。



目 次

I 日本大学大学院芸術学研究科の教育方針

1 大学院芸術学研究科の紹介	2
2 教育研究上の目的	
3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	
4 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	
5 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	3

II 2025年度（令和7年度）入学試験案内

1 募集人員	4
2 入学検定料	
3 入学試験会場	5
4 出願にあたっての注意事項	
5 「日本語」能力に関する出願条件について（外国籍の方対象）	
6 希望指導教授への事前連絡【重要】	6
7 試験期日等	7
8 試験科目	9
9 1次試験の概要	11
10 2次試験の概要	14
11 出願書類（全入学試験区分共通書類）	17

III 履修案内【2024年度（令和6年度）参考】

1 博士前期課程文芸学専攻	19
2 博士前期課程映像芸術専攻	20
3 博士前期課程造形芸術専攻	21
4 博士前期課程音楽芸術専攻	22
5 博士前期課程舞台芸術専攻	23
6 博士後期課程芸術専攻	24

IV 入学金・授業料等納入金、授業校舎について

1 2025年度（令和7年度）入学者 入学金・授業料等納入金	25
2 2025年度（令和7年度）大学院芸術学研究科入学者の授業校舎	

V 2025年度（令和7年度）芸術学研究科研究指導教授一覧

1 博士前期課程	26
2 博士後期課程	27

I 日本大学大学院芸術学研究科の教育方針

1 大学院芸術学研究科の紹介

大学院芸術学研究科は、昭和26年に設置された文芸学専攻を基に、平成5年に映像芸術専攻、造形芸術専攻、音楽芸術専攻、舞台芸術専攻の各専攻を増設し、芸術学部の全ての領域を網羅する総合芸術系大学院となりました。また、平成7年には博士後期課程芸術専攻を設置し、令和5年度修了時点で2,077名の者に修士の学位を、134名（課程修了による者119名、論文提出による者15名）の者に博士の学位を授与しており、高度な芸術研究の場として広く社会からも注目を集めています。

本研究科の特徴は、より高度に複雑にクロスオーバーする芸術研究環境の中で、単独の分野の研究を深めると同時に隣接領域の研究も学際的課題として取り扱うカリキュラム構成にあります。また、芸術の理論と高度な表現力を涵養することを主眼にし、豊かな学識と表現能力を持った芸術研究者・表現者の育成を大きな目標としています。

2 教育研究上の目的

21世紀の芸術は、すべての領域における融合を必然としています。芸術の現状を視野に置きながら、芸術の理論と歴史の研究と想像力を養い、併せて専門及び学際的課題を含む応用領域の研究を行っています。専門分野の更なる研究と創作等を行うとともに、隣接領域の芸術と触れ合い、広い視野をもって芸術を理解することで、幅広い知識と技術を持った、次代の芸術をリードする人材を養成しています。

3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程

本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術の歴史と理論を学び、多様化する高度な表現を論理的かつ批判的に思考し、新たな芸術の研究・表現を創造できる人を求めます。

博士後期課程（芸術専攻）

本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術の豊かな知識・教養と倫理観を持ち、自ら研究課題を発見・解決する方法を思考し、自立した研究・創作活動に挑戦し、次代の芸術をリードする人を求めます。

選考について

日本大学大学院芸術学研究科では、創造性を評価します。論文（小論文）試験では論理性と発想力を審査します。実技・作品審査では技術と表現力を審査します。外国語試験では各専攻において文献・論文研究に必要な読解力を審査します。

口述試験では各専攻分野で芸術を学ぶための意欲、適性及び人間性を審査します。

4 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本大学大学院芸術学研究科では、日本大学教育憲章に基づき、「日本大学の目的及び使命」を理解し、「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力に基づく、芸術・文化全般に対して国際的視野を備え、本研究科の修了要件を満たした者に、学位を授与する。

博士前期課程では、文芸学、映像芸術、造形芸術、音楽芸術、舞台芸術各専攻の修了要件を満たし、各研究分野における理論と歴史を専門的に探究する力を持ち、問題を自ら解決するために、芸術の研究と表現を磨き、その能力を社会に生かす姿勢を持つことが、課程修了の基準である。

博士後期課程では、芸術の研究者、創作者として自立するための高度な専門的知識と能力を身につけ、独力で新たな研究、創作の問題を見出し、解決させ、社会に貢献できるようになることが、課程修了の基準である。

5 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

日本大学大学院芸術学研究科では、日本大学教育憲章に基づき、学位授与の方針に沿って教育課程を編成し実施する。

博士前期課程では、文芸学、映像芸術、造形芸術、音楽芸術、舞台芸術の5つの専攻を置き、21世紀の芸術が担う社会的先導性を身につけることを目標とする。基礎的素養と各専攻の専門知識を培うと同時に、専攻の壁を越えて学生の知的関心に応じるべく、相互に関連する広範囲の科目を配置し、修士論文・作品の研究を個別に指導する。憲章の8つの能力を養成するとともに、芸術分野の多岐にわたる授業科目を体系化し、講義・演習・実習・実技等の授業形態を組み入れた学修方法による教育課程を以下のとおり編成し、実施する。

- (1) 主指導教授が担当する科目を1年次より2年間継続して履修し、修士論文・修士制作の作成のための指導を少人数制で実施する。
- (2) 全専攻共通科目である「芸術学特論」では、芸術の歴史のなかで各領域の芸術の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考して、今日の芸術的状況を認識することを目的としている。また、「リサーチ特殊研究」では論文作成の基本と原則を習得し資料収集の方法などの能力を養うことを目的とし、芸術の表現力と技術を身に付けつつ、修士論文執筆のための実践的な指導を実施する。
- (3) 専攻ごとに芸術理論・歴史を専門的に探究する力を修得するための理論部門や、各自の専門研究における問題を自ら解決するための演習・実習部門を設置し科目を配置する。また、相互に関連する他専攻の専門科目を履修する関連領域部門では、学生自身の専門領域に留まらない知的関心に答えられるようなカリキュラムを編成する。

博士後期課程では、博士前期課程での研究をさらに発展させるため、指導教員により、論文作成における多岐にわたるアドバイスを行うとともに、研究成果発表のプレゼンテーション能力を強化し、コースワークとリサーチワークを組み合わせた体系的な授業形態を組み入れ、学生自身が独力で問題設定から解決までできることを目指した教育課程を以下のとおり編成し、実施する。

- (1) 1年次より主指導教員が担当する「芸術研究特別演習」を中心にリサーチワークを実施して、実技能力や調査研究能力、研究理論を構築する能力に関する綿密な指導をとおして、学生自らが設定する研究内容を高次なものへと高め、博士論文の作成に向けた総合的かつ実践的な研究指導を実施する。
- (2) コースワークを充実させ、研究・創作の視野を広げ、幅広い学識を涵養するため、他領域の科目を履修するとともに、理論だけでなく作品制作等の表現をとおしての教育を実施する。また、「芸術学特殊研究」を必修科目として、芸術を学ぶ上で必要とされる芸術学や美学のほか様々な学問領域の歴史について理解する。
- (3) 博士論文提出までに1次予備試験、2次予備試験（中間発表）の2回の予備試験と博士論文提出の際の口頭発表をとおして、研究者・表現者として必要なプレゼンテーション能力を身に付けるとともに、指導教員以外の教員からの助言を受け博士論文を完成させる。

II 2025年度（令和7年度）入学試験案内

1 募集人員

博士前期課程

専攻	分野	外国人留学生入学試験	学部内選考入学試験	一般入学試験	社会人入学試験	募集人員
文芸学専攻		○	○	○	募集なし	20名
映像芸術専攻	写真分野	○	○	○	募集なし	20名
	映画分野					
	放送分野					
造形芸術専攻	絵画分野	○	○	○	募集なし	15名
	版画分野					
	彫刻分野					
	造形理論分野					
	地域芸術分野					
	コミュニケーションデザイン分野					
	インダストリアルデザイン分野					
建築デザイン分野						
音楽芸術専攻	作曲分野	○	○	○	募集なし	10名
	声楽分野					
	器楽分野					
	音楽学分野					
	音楽教育分野					
	情報音楽分野					
舞台芸術専攻		○	○	○	募集なし	10名

博士後期課程

専攻	分野	外国人留学生入学試験	学部内選考入学試験	一般入学試験	社会人入学試験	募集人員
芸術専攻		○	募集なし	○	○	8名 (うち社会人3名)

《注意事項》

- 1) 全入学試験合計の募集人員です。
- 2) 入学試験の出願資格等の詳細は試験区分ごとの入学試験要項をご確認ください。
- 3) 複数の専攻分野に出願することは出来ません。
- 4) 学部内選考入学試験は2025年3月日本大学芸術学部卒業見込み者が受験できます。
(学科・コースは問わない)
- 5) 本学部在学学生・卒業生・修了生は「外国人留学生入学試験」を受験することは出来ません。
- 6) 本学部卒業生は学部内選考入学試験を受験することは出来ません。

2 入学検定料

入学検定料 35,000円

- ※ 入学検定料の納入方法は各入学試験要項を参照してください。
- ※ いったん納入された入学検定料は原則返還いたしません。

3 入学試験会場

日本大学芸術学部(芸術学研究科)

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1

(池袋より西武池袋線各駅停車にて江古田駅下車 北口より徒歩1分)

- ※ 1次試験, 2次試験がある入学試験は2次試験のみ芸術学部キャンパスで実施いたします。
- ※ オンライン形式による入学試験は実施いたしません。

4 出願にあたっての注意事項

- 1) 出願にあたっては, 必ず本研究科の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)を含む3つのポリシーをご確認ください。
- 2) 出願書類に不備があった場合は, 原則として出願を受け付けません。
- 3) 出願書類・記載事項(提出作品)に不正や剽窃が認められた場合は, 判明した時点での資格(出願・合格・入学)を取り消します。(証明書等の発行元に問い合わせることがあります)
- 4) いったん提出された出願書類及び納入された入学検定料は原則として返還しません。

※ 身体の機能に著しい障害のある方は, 受験及び就学が困難な場合もありますので, 出願前のできるだけ早い時期に, 必ず教務課大学院係へご相談ください。

5 「日本語」能力に関する出願条件について (外国籍の方対象)

※日本大学, 日本大学大学院の卒業, 修了(見込)生は除く

外国籍の志願者の方は, 出願時に日本語能力の出願条件がありますのでご注意ください。

博士前期課程出願者

出願時に日本語能力試験(JLPT)において, 「N2以上」に合格していること。

または, 日本留学試験(EJU)において, 2022年11月, 2023年6月・11月, 2024年6月のいずれかを受験し, 「日本語(読解, 聴解・聴読解)で240点以上」および「日本語(記述)で35点以上」を取得していること。

博士後期課程出願者

出願時に日本語能力試験(JLPT)において, 「N1」に合格していること。

または, 日本留学試験(EJU)において, 2022年11月, 2023年6月・11月, 2024年6月のいずれかを受験し, 「日本語(読解, 聴解・聴読解)で280点以上」および「日本語(記述)で35点以上」を取得していること。

日本語能力に関する出願書類については, P18を確認してください。

6 希望指導教授への事前連絡について

大学院芸術学研究科へ出願する場合、博士前期課程・後期課程ともに出願前に希望指導教授への事前連絡（指導教授への研究内容の確認）が必要となります。

希望指導教授の指定にあたっては、芸術学研究科ホームページ (<https://nihon-ugsa.com/exam/>) をご覧いただき、各教授の研究領域を確認してください。(P26, 27 に記載されている教員が 2025 年度入学者の指導教授となる教員です)

希望指導教授が決まりましたら、受付期間内に専用の「事前連絡フォーム」より事前連絡をしてください。(同時に複数の教授や分野に事前連絡することは出来ません)

希望する指導教授により研究内容等の確認が完了すると、教務課大学院係から志願者の方へ出願書類として提出が必要となる「事前連絡確認書」が交付されます。「事前連絡確認書」の交付には時間を要する場合がありますので、期間に余裕を持って事前連絡をしてください。

また、事前連絡申込期間外の事前連絡をお受けすることは出来ませんので、必ず期間内にお申込みください。

各入学試験の事前連絡申込期間

- 外国人留学生入学試験_____2024(令和6)年7月8日(月)10:00~7月19日(金)17:00
- 学部内選考入学試験_____出願前に各自希望指導教授へ相談すること
- 博士前期課程一般入学試験_____2024(令和6)年11月8日(金)10:00~11月15日(金)17:00
- 博士後期課程一般・社会人入学試験__2024(令和6)年11月8日(金)10:00~11月15日(金)17:00

事前連絡フォームの URL は芸術学研究科ホームページに掲載いたします。

7 試験期日等

博士前期課程【文芸学専攻/映像芸術専攻/造形芸術専攻/音楽芸術専攻/舞台芸術専攻】

外国人留学生入学試験

入学試験要項配布	2024年6月中旬より日本大学ホームページにてダウンロード開始予定 URL http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/international
事前連絡期間	2024年7月8日(月)~7月19日(金)《専用フォームから受付》
出願期間	2024年7月19日(金)~9月10日(火)《日本大学入試センターへ郵送必着》
1次試験期日	書類・論文作品審査のため来校不要
1次試験合格発表	2024年10月29日(火)《インターネットにより発表》
2次試験期日	2024年11月14日(木)《芸術学部キャンパスで実施》
2次試験合格発表	2024年11月27日(水)《インターネットにより発表》
入学手続期間	2024年11月28日(木)~2025年1月17日(金) ※ 二段階手続締切日=2025年3月11日(火)

学部内選考入学試験

出願資格	2025年3月25日に日本大学芸術学部を卒業予定の者(卒業見込みの者) ※学科やコースは不問
入試要項等配布	2024年9月下旬より教務課窓口にて配布
出願期間	2024年9月25日(水)~10月17日(木) ※教務課窓口へ提出
試験期日	2024年11月14日(木)
合格発表	2024年11月27日(水)
入学手続期間	2025年2月20日(木)~3月4日(火)

一般入学試験

入学試験要項配布	2024年8月下旬より日本大学ホームページにてダウンロード開始予定 URL http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/graduate/application_forms/
事前連絡期間	2024年11月8日(金)~11月15日(金)《専用フォームから受付》
出願期間	2024年11月29日(金)~12月13日(金)《日本大学芸術学部へ郵送必着》
1次試験期日	書類・論文作品審査のため来校不要
1次試験合格発表	2025年2月5日(水)《速達郵便にて通知》
2次試験期日	2025年2月22日(土)
2次試験合格発表	2025年3月5日(水)
入学手続期間	2025年3月6日(木)~3月13日(木)

博士後期課程【芸術専攻】

外国人留学生入学試験

入学試験要項配布	2024年6月中旬より日本大学ホームページにてダウンロード開始予定 URL http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/international
事前連絡期間	2024年7月8日(月)～7月19日(金)《専用フォームから受付》
出願期間	2024年7月19日(金)～9月10日(火)《日本大学入試センターへ郵送必着》
1次試験期日	書類・論文作品審査のため来校不要
1次試験合格発表	2024年10月29日(火)《インターネットにより発表》
2次試験期日	2024年11月14日(木)《芸術学部キャンパスで実施》
2次試験合格発表	2024年11月27日(水)《インターネットにより発表》
入学手続期間	2024年11月28日(木)～2025年1月17日(金) ※二段階手続締切日＝2025年3月11日(火)

一般・社会人入学試験

入学試験要項配布	2024年8月下旬より日本大学ホームページにてダウンロード開始予定 URL http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/graduate/application_forms/
事前連絡期間	2024年11月8日(金)～11月15日(金)《専用フォームから受付》
出願期間	2024年11月29日(金)～12月13日(金)《日本大学芸術学部へ郵送必着》
1次試験期日	書類・論文作品審査のため来校不要
1次試験合格発表	2025年2月5日(水)《速達郵便にて通知》
2次試験期日	2025年2月22日(土)
2次試験合格発表	2025年3月5日(水)
入学手続期間	2025年3月6日(木)～3月13日(木)

《試験期日等に関する注意事項》

- 1) 入学試験の出願資格等の詳細は試験区分ごとの入学試験要項をご確認ください。
- 2) 1次試験と2次試験がある入学試験については、**1次試験合格者のみ2次試験を受験することができます。**
- 3) 外国人留学生入学試験の場合、合格者は入学申込金方式により入学手続きを二段階で行うことができます。詳細は外国人留学生入学試験要項、及び合格後に案内される入学手続要項をよくご覧ください。

8 試験科目

① 外国人留学生入学試験（博士前期課程・後期課程）

専攻	試験科目
博士前期課程 文芸学	<1次試験> ①書類審査 <2次試験> ①日本語による小論文試験 ②日本語による口述試験
博士前期課程 映像芸術	<1次試験> ①書類審査 ②論文または作品審査 <2次試験> ①日本語による小論文試験 ②日本語による口述試験 } 【全分野】
博士前期課程 造形芸術	<1次試験> ①書類審査【全分野】 ②論文または作品審査【全分野】 <2次試験> ①日本語による小論文試験【CD・ID・AD・造形理論・地域芸術】 ②実技試験【絵画・版画・彫刻分野】 ③日本語による口述試験【全分野】 （絵画・版画・CD・ID・AD分野は別途提出する作品を用いて行う）
博士前期課程 音楽芸術	<1次試験> ①書類審査【全分野】 ②論文または作品審査【作曲・音楽学・音楽教育・情報音楽分野】 <2次試験> ①日本語による小論文試験【全分野】 ②実技試験【器楽・声楽・音楽学分野】 ③日本語による口述試験【全分野】
博士前期課程 舞台芸術	<1次試験> ①書類審査 ②論文または作品・資料審査 <2次試験> ①日本語による小論文試験 ②日本語による口述試験
専攻	試験科目
博士後期課程 芸術	<1次試験> ①書類審査 ②論文または作品審査 <2次試験> ①外国語試験 ※辞書参照可 （英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択） ②日本語による論文試験 ③日本語による口述試験

※ 外国人留学生入学試験における1次試験の概要に関して、博士前期課程志願者はP11～12を、博士後期課程志願者はP13を確認してください。2次試験の概要に関してはP14を確認してください。

② 学部内選考入学試験（博士前期課程）

試験期日	試験科目
博士前期課程 文芸学	①日本語による小論文試験 ②日本語による口述試験
博士前期課程 映像芸術	日本語による口述試験【全分野】
博士前期課程 造形芸術	①論文または作品審査【全分野】 ②日本語による口述試験【全分野】
博士前期課程 音楽芸術	①実技試験【声楽・器楽分野】 ②論文または作品審査【作曲・音楽学・音楽教育・情報音楽分野】 ③日本語による口述試験【全分野】
博士前期課程 舞台芸術	①論文または作品・資料審査 ②日本語による口述試験

③ 一般入学試験（博士前期課程）

専攻	試験科目
博士前期課程 文芸学	< 1次試験 > ①書類審査 < 2次試験 > ①外国語試験 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可） ②日本語による小論文試験 ③日本語による口述試験
博士前期課程 映像芸術	< 1次試験 > ①書類審査 ②論文または作品審査【全分野】 < 2次試験 > ①外国語試験 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可） ②日本語による小論文試験 ③日本語による口述試験
博士前期課程 造形芸術	< 1次試験 > ①書類審査【全分野】 ②論文または作品審査【全分野】 < 2次試験 > ①外国語試験【造形理論分野】 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可） ②日本語による小論文試験【・造形理論・地域芸術分野】 ③実技試験【絵画・版画・彫刻分野】 ④日本語による口述試験【全分野】 （絵画・版画・CD・ID・AD）分野は別途提出する作品を用いて行う
博士前期課程 音楽芸術	< 1次試験 > ①書類審査【全分野】 ②論文または作品審査【作曲・音楽学・音楽教育・情報音楽分野】 < 2次試験 > ①外国語試験【全分野】 （英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可） ②日本語による小論文試験【全分野】 ③実技試験【声楽・器楽・音楽学分野】 ④日本語による口述試験【全分野】
博士前期課程 舞台芸術	< 1次試験 > ①書類審査 ②論文または作品・資料審査 < 2次試験 > ①外国語試験【全分野】 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可） ②日本語による小論文試験 ③日本語による口述試験

④ 一般入学試験・社会人入学試験（博士後期課程）

試験期日	試験科目
博士後期課程 芸術専攻 （一般）	< 1次試験 > ①書類審査 ②論文または作品審査 < 2次試験 > ①外国語試験 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可） ②日本語による論文試験 ③日本語による口述試験
博士後期課程 芸術専攻 （社会人）	< 1次試験 > ①書類審査 ②業績審査 < 2次試験 > ①日本語による論文試験 ②日本語による口述試験

※ 一般入学試験における1次試験の概要に関して、博士前期課程志願者はP11～12を、博士後期課程志願者・社会人入学試験志願者はP13を確認してください。

※ 2次試験の概要に関して、博士前期課程志願者はP15を、博士後期課程志願者・社会人入学試験志願者はP16を確認してください。

9 1次試験の概要（「論文または作品審査」の詳細）

博士前期課程（外国人留学生入学試験・一般入学試験）

専攻	1次試験における提出作品・論文の内容
文芸学	<p>1 書類審査</p>
映像芸術	<p>1 書類審査</p> <p>2 論文または作品審査</p> <p>◆次のいずれかを提出すること（①～⑤は入学後の研究領域に属するものとする）</p> <p>① 写真作品 1 テーマ 20 点以上で、サイズ 8 インチ×10 インチあるいは A4 のポートフォリオ、または A4 以下のブックを合計 3 冊まで。</p> <p>② 映像作品 1 本で 30 分程度を原則とする。 (アニメーション、アート作品などで、連作や 1 本数分の短編の場合、複数の提出も可とする) ～提出作品については以下の要件を十分確認すること～ 1) 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。それができない場合は、日本語による概要を添付すること。 2) 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 3) DVD ビデオ・BD ビデオで提出する場合は、日本で再生できる方式・リージョンにすること 4) 必ずファイナライズされたものを提出すること。 5) フラッシュメモリー等でデータ提出する場合は、提出時の最新の Windows Media Player、または、QuickTime Player で再生できるものにすること。 6) フィルム（8mm, 16mm, 35mm）も可。 7) 作品の分数、また音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。</p> <p>③ シナリオ作品（紙媒体で提出すること）</p> <p>④ 音響作品 1) ディスク、データで提出どちらでもかまわないが、映像作品に準じ日本で再生できるもの（特別な指示がある場合は明記すること） 2) 作品の分数を明記し、スタッフがいる場合はその表（本人の担当を明記）を添付すること</p> <p>⑤ 論文（紙媒体で提出すること） 日本語又は英語による論文 ※日本語による 4000 字程度の概要を添付すること</p>
造形芸術	<p>1 書類審査</p> <p>2 論文または作品審査</p> <p>◆次のいずれかを提出すること</p> <p>① 絵画分野 絵画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ） 1 冊</p> <p>② 版画分野 版画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ） 1 冊</p> <p>③ 彫刻分野 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ） 1 冊</p> <p>④ コミュニケーションデザイン分野 大学院の研究につながる 3 点の作品について片面印刷 6 枚以内で簡潔にまとめたポートフォリオ 1 冊</p> <p>⑤ インダストリアルデザイン分野 大学院の研究につながる 3 点の作品について片面印刷 6 枚以内で簡潔にまとめたポートフォリオ 1 冊</p> <p>⑥ 建築デザイン分野 大学院の研究につながる 3 点の作品について片面印刷 6 枚以内で簡潔にまとめたポートフォリオ 1 冊</p> <p>⑦ 造形理論分野 日本語による論文 ※概要を添付すること</p> <p>⑧ 地域芸術分野 日本語による論文 ※概要を添付すること または 作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ） 1 冊</p>

専攻	1次試験における提出作品・論文の内容
音楽芸術	<p>1 書類審査 2 論文または作品審査【作曲・音楽学・音楽教育・情報音楽分野のみ】 ◆次のいずれかを提出すること</p> <p>① 作曲分野 自作品の楽譜（2点を限度とする。編成や長さは問わない。録音CDを添付することも可）</p> <p>② 音楽学分野 日本語または英語による音楽系の論文またはレポート（2点を限度とする。長さは問わない）</p> <p>③ 音楽教育分野 日本語による音楽教育に関連する論文1本（卒業論文を含む）またはレポート2点（授業等で提出済みのもの）</p> <p>④ 情報音楽分野 作品・ポートフォリオまたは論文（言語は問わず）を提出すること 器楽・声楽分野は提出不要</p>
舞台芸術	<p>1 書類審査 2 論文または作品・資料審査 ◆次のいずれかを提出すること（①～④は入学後の研究領域に属するものとする）</p> <p>① 映像資料 【本人の出演・創舞・演出に該当する場合のみ】 ビデオテープ・DVD・BD（日本国内で一般的に再生可能なものに限る）等の舞台映像資料 1) 映像資料は1本とする 2) チラシまたはパンフレットの写し等、必ず本人の担当や名前などが明記されているものを添付すること 3) DVD・BDはファイナライズしておくこと</p> <p>② 戯曲 舞台用に本人が創作した戯曲 戯曲は1本とし、実際に舞台上演されたもの、または戯曲集やそれに相当する媒体に掲載されたもの 1) 舞台上演されたものは実際に使用した台本（チラシまたはパンフレットも添付）を提出すること 2) 戯曲集など書籍収録の場合は、実物またはコピーを提出すること。その場合は、必ず表紙・目次・奥付も添付すること</p> <p>③ 舞台資料 今までに関わった舞台等（3作品を限度とする）の「ポートフォリオ（舞台資料）」</p> <p>④ 論文 日本語による論文 ※概要を添付すること</p>

博士後期課程（外国人留学生入学試験，一般入学試験，社会人入学試験）

試験区分	1次試験における提出作品・論文の内容
外国人留学生及び一般	<p>1 書類審査 2 論文または作品審査 ◆次のいずれかを提出すること</p> <p>① 論文の場合 日本語による論文と日本語による概要（4,000字程度） 大学院博士前期（修士）課程修了時の修士論文，またはそれに代わる論文</p> <p>② 作品の場合（修了作品等で副論文がある場合は添付すること）</p> <p>(1) 写真作品 1テーマ20点以上で，サイズ8インチ×10インチあるいはA4のポートフォリオ，またはA4以下のブックを合計3冊まで。</p> <p>(2) 映像作品 提出作品は1本で30分程度を原則とする。 (アニメーション，アート作品などで，連作や1本数分の短編の場合，複数の提出も可とする) 提出作品については以下の要件を十分確認すること。 1) 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。それができない場合は，日本語による概要を添付すること。 2) 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 3) DVDビデオ・BDビデオで提出する場合は，日本で再生できる方式・リージョンにすること。 4) 必ずファイナライズされたものを提出すること。 5) フラッシュメモリー等でデータ提出する場合は，提出時の最新のWindows Media Player，または，QuickTime Playerで再生できるものにすること。 6) フィルム（8mm，16mm，35mm）も可。 7) 作品の分数，また音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。</p> <p>(3) 絵画 絵画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）1冊</p> <p>(4) 版画 版画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）1冊</p> <p>(5) 彫刻 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）1冊</p> <p>(6) コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン 修了制作を含むポートフォリオ 1冊</p> <p>(7) 作曲 作曲の場合は作品2点以上の楽譜（そのうち1点は音源CD）を提出</p> <p>(8) 演奏 演奏の場合は演奏を録音したCD（声楽は30分程度，器楽は40分程度）を提出</p>
社会人	<p>上記論文・作品いずれかに加え， ◆研究業績報告書《所定用紙》 場合により業績現物の提出を求めることもある</p>

《注意事項》

- 1) 1次試験において審査対象となる作品・論文等は各入学試験区分の出願締切日までに，芸術学部教務課へご提出いただきます。（詳細は試験区分ごとの入学試験要項に記載）
- 2) 作品・論文等の提出には，本人が作成したものであることを証明する「提出作品・論文等証明書」（所定用紙）の添付が必要になります。「提出作品・論文等証明書」の様式は入学試験要項と同時に公開いたします。
- 3) 1次試験のために提出された論文・作品は1次試験合格発表日後，指定の期日までに申し出のあった方のみ返却いたします。（1次試験合格者は2次試験受験時に返却いたします）

10 2次試験の概要

⚠ 2次試験は1次試験の合格者のみ受験が可能です。

CD-コミュニケーションデザイン分野
ID-インダストリアルデザイン分野
AD-建築デザイン分野

① 外国人留学生入学試験（博士前期課程）

専攻	2次試験の内容
文芸学	1 日本語による小論文試験（60分） 試験当日に与えられたテーマで記述する 2 日本語による口述試験
映像芸術	1 日本語による小論文試験【対象：全分野】（80分） 試験当日に与えられたテーマで記述する 2 日本語による口述試験【対象：全分野】
造形芸術	1 日本語による小論文試験【対象：CD・ID・AD・造形理論・地域芸術分野】 CD・ID・AD分野：90分 造形理論分野：80分 地域芸術分野：60分 試験当日に与えられたテーマで記述する 2 実技試験【対象：絵画・版画・彫刻分野】 ① 絵画分野・版画分野 デッサン120分 ② 彫刻分野 デッサン180分 3 日本語による口述試験【対象：全分野】 絵画・版画・CD・ID・AD分野は別途提出する作品を用いて行う ※P16, 3)参照 絵画分野：絵画作品50号以上3点 版画分野：版画作品5点以上 CD・ID・AD分野： 自由にまとめてブックの形に仕上げたポートフォリオ1点に加え、平面系デザインの場合はグラフィック作品、立体系デザインの場合はモックアップや模型など数点
音楽芸術	1 日本語による小論文試験（60分）【対象：全分野】 専攻分野にかかわる研究テーマをあらかじめ各自設定し、記述する 2 実技試験【対象：声楽・器楽・音楽学分野】 ① 声楽分野 任意の声楽曲（計10分以上20分以内。暗譜） ② 器楽分野 各自の専攻する器楽曲（計10分以上20分以内。暗譜） ※ピアノ以外の楽器で受験する場合は、事前に問い合わせること ③ 音楽学分野 任意の楽器（声を含む）の演奏（3分程度以上。暗譜の必要はない） 3 日本語による口述試験【対象：全分野】
舞台芸術	1 日本語による小論文試験（60分） 試験当日に与えられたテーマで記述する 2 日本語による口述試験

② 外国人留学生入学試験（博士後期課程）

専攻	2次試験の内容
芸術	1 外国語試験（60分） 英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可 2 日本語による論文試験（90分） 試験当日に与えられたテーマで記述する 3 日本語による口述試験

③ 一般入学試験（博士前期課程）

専攻	2次試験の内容
文芸学	<p>1 外国語試験（60分） 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可</p> <p>2 日本語による小論文試験（60分） 試験当日に与えられたテーマで記述する</p> <p>3 日本語による口述試験</p>
映像芸術	<p>1 外国語試験【対象：全分野】（60分） 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可</p> <p>2 日本語による小論文試験【対象：全分野】（80分） 試験当日に与えられたテーマで記述する</p> <p>3 日本語による口述試験【対象：全分野】</p>
造形芸術	<p>1 外国語試験【対象：造形理論分野】（60分） 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可</p> <p>2 日本語による小論文試験【対象：CD・ID・AD・造形理論・地域芸術分野】 CD・ID・AD分野：90分 造形理論分野：80分 地域芸術分野：60分 試験当日に与えられたテーマで記述する</p> <p>3 実技試験【対象：絵画・版画・彫刻分野】</p> <p>① 絵画・版画分野 デッサン120分</p> <p>② 彫刻分野 デッサン180分</p> <p>4 日本語による口述試験【対象：全分野】 絵画・版画・CD・ID・AD分野は別途提出する作品を用いて行う。※P16, 3)参照 絵画分野：絵画作品50号以上3点 版画分野：版画作品5点以上 CD・ID・AD分野： 自由にまとめてブックの形に仕上げたポートフォリオ1点に加え、平面系デザインの場合はグラフィック作品、立体系デザインの場合はモックアップや模型など数点</p>
音楽芸術	<p>1 外国語試験【対象：全分野】（60分） 英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可</p> <p>2 日本語による小論文試験【対象：全分野】（60分） 専攻分野にかかわる研究テーマをあらかじめ各自設定し、記述する</p> <p>3 実技試験【対象：声楽・器楽・音楽学分野】</p> <p>① 声楽分野 任意の声楽曲（計10分以上20分以内。暗譜）</p> <p>② 器楽分野 各自の専攻する器楽曲（計10分以上20分以内。暗譜） ※ピアノ以外の楽器で受験する場合は、事前に問い合わせること</p> <p>③ 音楽学分野 任意の楽器（声を含む）の演奏（3分程度以上。暗譜の必要はない）</p> <p>4 日本語による口述試験【対象：全分野】</p>
舞台芸術	<p>1 外国語試験（60分） 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可</p> <p>2 日本語による小論文試験（60分） 試験当日に与えられたテーマで記述する</p> <p>3 日本語による口述試験</p>

④ 一般入学試験・社会人入学試験（博士後期課程）

専攻	2次試験の内容
芸術 (一般)	1 外国語試験（60分） 英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※辞書参照可 2 日本語による論文試験（90分） 試験当日に与えられたテーマで記述する 3 日本語による口述試験
芸術 (社会人)	1 日本語による論文試験（90分） 試験当日に与えられたテーマで記述する 2 日本語による口述試験

《注意事項》

- 1) 2次試験は1次試験の合格者のみ受験出来ます。
- 2) 2次試験は芸術学部（芸術学研究科）のキャンパスで実施いたします。
- 3) 博士前期課程造形芸術専攻（絵画・版画・CD・ID・AD分野）の口述試験で用いる提出作品について、提出期日や提出方法等の詳細は1次試験合否結果通知時に1次試験合格者へお知らせいたします。
- 4) 2次試験における口述試験のために提出いただいた作品は2次試験終了後にご返却いたします。
- 5) 小論文試験・論文試験ともテーマ・字数等は原則として試験時に指示いたします。
- 6) 小論文・論文試験ともにすべて辞書参照不可です。
- 7) 「外国語試験」において、辞書参照可とする場合の辞書は書籍辞書のみとし、電子辞書は不可です。
- 8) 過去3年分の小論文・論文試験課題を公開しています。閲覧希望の場合は日本大学芸術学部教務課大学院係へ閲覧希望専攻を連絡してください。
- 9) 小論文・論文試験課題以外の過去問題（外国語試験・実技試験のテーマ等）は公開しておりません。

11 出願書類(全入学試験区分共通書類)

以下の書類は、外国人留学生入学試験・一般入学試験・社会人入学試験いずれの試験においても出願時に提出が必要となります。

以下の書類以外の入学試験ごとに提出が必要となる書類があります。詳細はそれぞれの入学試験要項をご確認ください。

① 全専攻分野で必要

- 卒業(見込)証明書(原本)(後期課程出願者は修了(見込)証明書)
- 成績証明書(原本)

} P18「④証明書に関する留意事項」参照

② 出願する専攻・志願者により必要

博士前期課程

専攻	志願者区分	審査のための 作品または論文	提出作品・論文等証明書 3)を参照	研究計画書	事前連絡 確認書 研究科より交付
文芸学専攻 音楽芸術専攻 (声楽/器楽分野)	他大学・日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	×	×	○	○
	芸術学部卒業生	×	×	○	○
	芸術学部卒業見込者	×	×	○	×
映像芸術専攻 造形芸術専攻 音楽芸術専攻 (作曲/音楽学/静聴音楽分野) 舞台芸術専攻	他大学・日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○
	芸術学部卒業生	○	△	○	○
	芸術学部卒業見込者	○	△	○	×

博士後期課程

専攻	志願者区分	審査のための 作品または論文	提出作品・論文等証明書 3)を参照	研究計画書	事前連絡 確認書 研究科より交付
芸術専攻	他大学院・日本大学他研究科 修了見込者及び修了者	○	○	○	○
	芸術学研究科修了者	○	△	○	○
	芸術学研究科修了見込者	○	△	○	×

○=必要 ×=不要 △=「提出作品・論文等証明書」を「提出作品届」(所定用紙)に代えることが出来る

- 1) 二重線内は、本研究科所定用紙で作成いただきます。(所定用紙は入学試験ごとの入学試験要項と同時に公開されます)
- 2) 研究計画書は入学試験区分により所定用紙が異なります。
- 3) 審査のための提出作品・論文等については提出する作品・論文等が自己のものであることの証明書を提出していただきます。証明者は原則として在籍又は出身校の指導教授またこれに準ずる人としします。(日本語学校に通っている者は日本語学校の教員も可。家族・友人は不可)
- 4) 「事前連絡確認書」は事前連絡により希望指導教授や研究内容等の完了が確認でき次第、教務課大学院係から志願者の方へ交付いたします。
- 5) 博士前期課程音楽芸術専攻の実技試験実施分野(声楽, 器楽, 音楽学)の志願者は、上記の志願者区分に関わらず入学試験実技曲目届出書(所定用紙)を提出してください。
- 6) 博士後期課程芸術専攻社会人入試志願者は、「研究業績報告書(所定用紙)」「勤務先所属長の推薦書」の2点を加えて提出してください。

③ 日本語能力に関する出願書類の提出について

日本国籍以外の志願者は以下の書類の提出が必要となります。※日本大学、日本大学大学院卒業・修了(見込)生は除く出願において必要な基準に関しては、P5をご確認ください。

● 日本語能力検定（JLPT）で出願する場合

「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本又はコピー

- ※ 日本語能力試験のWebサイトから発行申請してください。
- ※ 「合否結果通知書」及び「日本語能力認定書」は出願書類として受理できません。

● 日本留学生試験（EJU）で出願する場合

- ・ 日本留学試験の「成績確認書」（EJUのWebサイトより出力可）
 - ・ 成績通知書のコピー
- } いずれか1点

※複数回受験している場合は利用可能な実施回のうち、いずれか1回のみ提出すること。

④ 証明書に関する留意事項

【卒業・修了（見込）証明書】

- 1) 卒業・修了(見込)証明書は出身大学が発行した証明書**原本**を提出してください。
- 2) 卒業・修了証明書の発行期限は問いませんが、卒業・修了見込証明書は出願前3ヶ月以内に発行したものを提出してください。

【成績証明書】

- 1) 出身大学(大学院)が発行した証明書**原本**を提出してください。(「CHSI」「CSSD」等から発行された証明書等は不可)
- 2) 出身大学(大学院)在学中の全学年分の成績が記載されたもの(各学年ごとに成績が記載されたもの)を提出してください。
※ 履修状況等により、全学年分の成績が記載されない場合は、その理由を成績証明書に記載してください。成績証明書にその理由が記載されない場合は、出身学校からそれらのことを証明する書類(原本)を別途提出してください。

【その他】

- 1) 自身で印刷が出来るインターネットやデータ出力による証明書(公印やサインが印刷されたもの)は原則証明書原本として受理できません。
- 2) 証明書の原本が提出できない場合は、certified true copyを提出してください。
certified true copy …
原本から正しく複製されたものであることを、出身学校、大使館、総領事館等の公的機関が証明したもの。(日本語学校・翻訳会社は含まれません。)
(注) 出身学校で証明をもらう場合は、必ず学校の公印が押されたものを提出してください。証明書が複数ページにわたる場合は、全てのページにおいて必要です。
- 3) 証明書類は、日本語又は英語で作成されたものを提出してください。
それ以外の言語で作成されたものを提出する場合は、日本語又は英語の翻訳文を添付し、大使館、総領事館等の公的機関による翻訳証明を提出してください。
なお、日本語学校・翻訳会社(法人によるものに限る)等での翻訳証明も認めますが、必ず翻訳責任者の氏名が記載され、学校・会社等の公印が押されたものを提出してください。
- 4) 証明書及び志願者本人が記入する出願書類の氏名や生年月日等は、パスポートの記載と同じものを提出してください。やむを得ない理由で証明書の氏名や生年月日等がパスポートの記載と異なる場合は、大使館等の公的機関で同一人であることの証明を受けた上、その証明書を提出してください。

Ⅲ 履修案内【令和6年度（2024年度）参考】

博士前期課程

文芸学専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論部門				
文芸学特論Ⅰ	4	1・2	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	上田 薫・植月恵一郎
文芸学特論Ⅱ	4	〃		上田 薫
哲学特論	4	〃		伊藤博明
芸術心理学特論	4	〃		野村康治
文芸情報学特論	4	〃		ジュリアン マニング
マスコミュニケーション論	4	〃		
メディア論	4	〃		阿久澤騰
文芸史特論	4	〃		山内 淳
芸術社会学特論	4	〃		山本雅男
文芸表現特論	4	〃		浅沼 璞・山本雅男
B. 研究・創作部門				
外国文芸特殊研究	4	1～2	} 1科目選択必修	久保陽子・ジュリアン マニング
日本文芸特殊研究	4	〃		上田 薫・ソコロワ山下聖美
文芸創作特殊研究	4	〃		青木敬士・楊 逸
外国文芸特論Ⅰ	4	1		久保陽子・堀 邦維・山内 淳
外国文芸特論Ⅱ	4	2		久保陽子・堀 邦維・山内 淳・山本雅男
日本文芸特論Ⅰ	4	1		ソコロワ山下聖美・上坪裕介・谷村順一
日本文芸特論Ⅱ	4	2		ソコロワ山下聖美・上坪裕介・谷村順一
文芸創作特論Ⅰ	4	1		青木敬士・楊 逸
文芸創作特論Ⅱ	4	2		青木敬士・楊 逸
C. 関連領域部門				
芸術学特論	4	1・2		上田 薫・川崎賢子・渡部葉子
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	〃		晏 妮
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		久保陽子
映画史特論	4	〃		志村三代子・相内啓司
放送史特論	4	〃		鈴木康弘
日本美術史特論Ⅰ	2	〃		田口文哉
日本美術史特論Ⅱ	2	〃		田口文哉
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃		出羽 尚
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃		出羽 尚
日本音楽史特論	4	〃		
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭
演劇史特論	4	〃		法月敏彦
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		
連携理論研究Ⅱ	2	〃		
連携表現研究Ⅰ	2	〃		
連携表現研究Ⅱ	2	〃		
学位論文・作品				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に履修すること

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること

映像芸術専攻					
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者	
A. 理論部門					
映像特論	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	鳥山正晴	
写真史特論	4	1・2		三井圭司	
映画史特論	4	〃		志村三代子・相内啓司	
放送史特論	4	〃		鈴木康弘	
映像構成特論	4	〃		相内啓司・手塚昌明	
映像技術特論	4	〃			
映像音響特論	4	〃		眞道正樹	
映像教育研究	4	〃			
B. 演習・実習部門					
映像表現研究 I	4	1～2		1 科目選択必修	秋元貴美子・田中里実・服部一人・大谷尚子・上倉 泉・齊藤裕人・鳥山正晴・増田治宏・松島哲也
写真特殊研究 I	4	〃	西垣仁美		
映画特殊研究 I	4	〃	古賀 太・志村三代子		
放送特殊研究 I	4	〃	兼高聖雄		
映像メディア特殊研究 I	4	〃	奥野邦利		
映像作品特殊研究 I	4	〃	佐藤英裕・鳥山正晴・小林 偉		
映像技術特殊研究 I	4	〃	安部 裕		
映像表現研究 II	2	1・2	秋元貴美子・田中里実・服部一人・GOTO AKI・大谷尚子・清水和貴・松島哲也・浅井 譲・青木研次・近森眞史・花柳貴答・福田卓郎・宮澤誠一		
写真特殊研究 II	2	〃	西垣仁美・高橋則英		
映画特殊研究 II	2	〃	古賀 太・増田治宏・晏 妮・越智美香		
放送特殊研究 II	2	〃	兼高聖雄・小林 偉		
映像メディア特殊研究 II	2	〃	芦谷耕平・加藤亮介・瀬島久美子・横田正夫		
映像作品特殊研究 II	2	〃	佐藤英裕・GOTO AKI・茅原良平・金 龍郎・小林 偉・中町綾子・星野 裕・森中慎也・谷 昭佳・寺脇 研		
映像技術特殊研究 II	2	〃	上倉 泉・玉木則順・安部 裕・落合賢一・河野純一		
C. 関連領域部門					
芸術学特論	④	1		上田 薫・川崎賢子・渡部葉子	
リサーチ特殊研究 I	2	1・2		晏 妮	
リサーチ特殊研究 II	2	〃		久保陽子	
文芸学特論 I	4	〃		上田 薫・植月恵一郎	
文芸学特論 II	4	〃		上田 薫	
哲学特論	4	〃		伊藤博明	
芸術心理学特論	4	〃		野村康治	
文芸情報学特論	4	〃		ジュリアン マニング	
マスコミュニケーション論	4	〃			
メディア論	4	〃		阿久澤騰	
文芸史特論	4	〃		山内 淳	
芸術社会学特論	4	〃		山本雅男	
造形特論	4	1		大西若人・山中敏正	
建築造形特論	4	〃		熊谷廣己	
デザイン史特論 I	2	1・2		森 香織・小林昭世	
デザイン史特論 II	2	〃		森 香織・小林昭世	
建築デザイン史特論 I	2	〃		伏見 唯	
建築デザイン史特論 II	2	〃		伏見 唯	
日本美術史特論 I	2	〃		田口文哉	
日本美術史特論 II	2	〃		田口文哉	
西洋美術史特論 I	2	〃		出羽 尚	
西洋美術史特論 II	2	〃		出羽 尚	
音楽芸術特論 I	4	1		笠羽映子	
音楽芸術特論 II	4	1・2		平野 昭	
日本音楽史特論	4	〃			
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭	
情報音楽特論	4	〃		岩宮眞一郎	
音楽心理学特論	4	〃		大寺雅子	
舞台芸術特論	4	1		小林直弥	
演劇史特論	4	1・2		法月敏彦	
民俗芸能特論	4	〃			
舞踊史特論	4	〃		松澤慶信・丸茂祐佳	
古典劇特論	4	〃			
映像文献原典講読	4	〃		堀 邦維	
D. 連携研究部門					
連携理論研究 I	2	1			
連携理論研究 II	2	〃			
連携表現研究 I	2	〃			
連携表現研究 II	2	〃			
学位論文・作品・制作					

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること

造形芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	
A. 理論部門			左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。ただし、デザイン実務研究は修了に必要な単位数に算入しない。	
造形特論	4	1	大西若人・山中敏正 熊谷廣己 田口文哉 田口文哉 出羽 尚 出羽 尚 森 香織・小林昭世 森 香織・小林昭世 伏見 唯 伏見 唯 金澤健一 金澤健一	
建築造形特論	4	1		
日本美術史特論Ⅰ	2	1・2		
日本美術史特論Ⅱ	2	1		
西洋美術史特論Ⅰ	2	1		
西洋美術史特論Ⅱ	2	1		
デザイン史特論Ⅰ	2	1		
デザイン史特論Ⅱ	2	1		
建築デザイン史特論Ⅰ	2	1		
建築デザイン史特論Ⅱ	2	1		
美術教育研究Ⅰ	2	1		
美術教育研究Ⅱ	2	1		
B. 演習・実習部門				
造形芸術研究Ⅰ（絵画・版画）	4	1～2		1 科目選択必修 榎井祐子・福島唯史 鞍掛純一 池田光宏・笠井則幸・佐藤 徹・長瀬浩明・森 香織・若原一貴 鞍掛純一 榎井祐子・福島唯史・坪井麻衣子・大庭英治・齊藤里香・作田富幸・森吉 健・吉岡正人・渡辺有葵
造形芸術研究Ⅰ（彫刻・地域芸術）	4	1～2		
造形芸術研究Ⅰ（デザイン）	4	1～2		
造形理論研究Ⅰ	4	1～2		
造形芸術研究Ⅱ（絵画・版画）	2	1～2		
造形芸術研究Ⅱ（彫刻・地域芸術）	2	1～2		
造形芸術研究Ⅱ（デザイン）	2	1～2		
造形理論研究Ⅱ	2	1～2		
絵画特殊研究Ⅰ	2	1～2		
絵画特殊研究Ⅱ	2	1～2		
版画特殊研究Ⅰ	2	1～2	1 科目選択必修 鞍掛純一・寺内曜子 池田光弘・笠井則幸・森 香織・佐藤 徹 長瀬浩明・若原一貴 田中修二・出羽 尚・山中敏正 嶋村有里子 星 晃・吉岡正人 作田富幸 作田富幸・西尾 彩 飯田竜太・藤井 匡 海崎三郎 熊谷廣己・佐賀一郎・山中敏正 肥田不二夫・佐賀一郎 山本守和・松本 有 大庭英治・室井久美子 吉岡正人 野口玲一 藤村拓也 鷹尾俊一 大槻孝之 伊藤 寛・肥田不二夫 伊藤 寛・木村政司 小林昭世	
版画特殊研究Ⅱ	2	1～2		
彫刻特殊研究Ⅰ	2	1～2		
彫刻特殊研究Ⅱ	2	1～2		
デザイン特殊研究Ⅰ	2	1～2		
デザイン特殊研究Ⅱ	2	1～2		
デザイン特殊研究Ⅲ	2	1～2		
絵画作品研究Ⅰ	2	1～2		
絵画作品研究Ⅱ	2	1～2		
版画作品研究Ⅰ	2	1～2		
版画作品研究Ⅱ	2	1～2		
彫刻作品研究Ⅰ	2	1～2		
彫刻作品研究Ⅱ	2	1～2		
デザイン作品研究Ⅰ	2	1～2		
デザイン作品研究Ⅱ	2	1～2		
デザイン作品研究Ⅲ	2	1～2		
デザイン作品研究Ⅳ	2	1～2		
アートプロジェクト研究	2	1～2		
デザイン実務研究	4	1～2		
C. 関連領域部門				
芸術学特論	4	1	上田 薫・川崎賢子・渡部葉子 晏 妮 久保陽子 上田 薫・植月恵一郎 伊藤博明 ジュリアン マニング 鳥山正晴 三井圭司 志村三代子・相内啓司 鈴木康弘 笠羽映子	
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	1・2		
文芸学特論Ⅰ	4	1		
哲学特論	4	1		
文芸情報学特論	4	1		
映像特論	4	1		
写真史特論	4	1		
映画史特論	4	1		
放送史特論	4	1		
音楽芸術特論Ⅰ	4	1	平野 昭 岩宮眞一郎 大寺雅子 小林直弥 法月敏彦	
日本音楽史特論	4	1		
西洋音楽史特論	4	1		
情報音楽特論	4	1		
音楽心理学特論	4	1		
舞台芸術特論	4	1		
演劇史特論	4	1		
民俗芸能特論	4	1		
古典劇特論	4	1		
芸術心理学特論	4	1		
芸術社会学特論	4	1	野村康治 山本雅男	
造形文献原典講読	4	1		
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		
連携理論研究Ⅱ	2	1		
連携表現研究Ⅰ	2	1		
連携表現研究Ⅱ	2	1		
学位論文・作品・制作				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること

音楽芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論部門				
音楽芸術特論Ⅰ	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	笠羽映子
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2		平野 昭
日本音楽史特論	4	〃		
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭
情報音楽特論	4	〃		岩宮眞一郎
音楽教育特論	4	〃		江間孝子
音楽心理学特論	4	〃		大寺雅子
B. 演習・実習部門				
作曲特殊研究	4	1～2	1科目選択必修	伊藤弘之
声楽特殊研究	4	〃		高久 暁
器楽特殊研究	4	〃		萩原貴子
音楽学研究	4	〃		伊藤弘之
音楽教育研究	4	〃		大寺雅子
情報音楽研究	4	〃		川上 央
音楽理論研究Ⅰ	2	1		伊藤弘之・大寺雅子・川上 央・高久 暁・岩宮眞一郎
音楽理論研究Ⅱ	2	2		伊藤弘之・大寺雅子・川上 央・高久 暁・岩宮眞一郎
音楽表現研究Ⅰ	2	1		伊藤弘之・萩原貴子・脇岡洋平・吉田行地・田代幸弘・中島久美・西山真二
音楽表現研究Ⅱ	2	2		伊藤弘之・萩原貴子・脇岡洋平・吉田行地・佐々木伸・田代幸弘・袴田和泉・本田聖嗣・松本 明・二ツ木千由紀
音楽作品研究	2	1・2	高久 暁・今泉 久	
指揮研究	2	〃	今泉 久	
C. 関連領域部門				
芸術学特論	④	1		上田 薫・川崎賢子・渡部葉子
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		晏 妮
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		久保陽子
造形特論	4	1		大西若人・山中敏正
映像特論	4	〃		鳥山正晴
映像構成特論	4	1・2		相内啓司・手塚昌明
映像音響特論	4	〃		眞道正樹
放送史特論	4	〃		鈴木康弘
演劇史特論	4	〃		法月敏彦
舞踊史特論	4	〃		松澤慶信・丸茂祐佳
民俗芸能特論	4	〃		
日本美術史特論Ⅰ	2	〃		田口文哉
日本美術史特論Ⅱ	2	〃		田口文哉
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃		出羽 尚
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃		出羽 尚
文芸史特論	4	〃		山内 淳
哲学特論	4	〃		伊藤博明
音楽文献原典講読	4	〃		北岡晃子
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		
連携理論研究Ⅱ	2	〃		
連携表現研究Ⅰ	2	〃		
連携表現研究Ⅱ	2	〃		
学位論文・作品・制作				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること

舞台芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論・歴史部門				
舞台芸術特論	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	小林直弥
演劇史特論	4	1・2		法月敏彦
舞踊史特論	4	〃		松澤慶信・丸茂祐佳
民俗芸能特論	4	〃		
古典劇特論	4	〃		
応用演劇特論	4	〃		櫻井 敏・小沢 徹
アート・マネージメント特論	4	〃		高萩 宏
B. 演習・実習部門				
舞台表現研究	4	1～2	1科目選択必修	中野成樹・松永雅彦・松山 立・松澤慶信
舞踊特殊研究	4	〃		小林直弥・范 旅
戯曲特殊研究	4	〃		川村 毅
舞台演出特殊研究	4	〃		中野成樹・山口英峰・藤崎周平
舞台美術特殊研究	4	〃		大久保恵児・千早正美
古典演劇特殊研究	4	〃		
民俗芸能特殊研究	4	〃		小林直弥
応用演劇特殊研究	4	〃	奥山 緑・櫻井 敏	
C. 関連領域部門				
芸術学特論	④	1		上田 薫・川崎賢子・渡部葉子
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		晏 妮
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		久保陽子
メディア論	4	〃		阿久澤騰
映像特論	4	1		鳥山正晴
造形特論	4	〃		大西若人・山中敏正
音楽芸術特論Ⅰ	4	〃		笠羽映子
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2		平野 昭
映画史特論	4	〃		志村三代子・相内啓司
放送史特論	4	〃		鈴木康弘
映像音響特論	4	〃		眞道正樹
音楽心理学特論	4	〃		大寺雅子
演劇文献原典講読	4	〃		植月恵一郎
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		
連携理論研究Ⅱ	2	〃		
連携表現研究Ⅰ	2	〃		
連携表現研究Ⅱ	2	〃		
学位論文・作品・制作				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること

芸術専攻						
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者		
A理論・歴史研究領域						
芸術学特殊研究	②	1	A理論・歴史研究領域から必修単位を含めて4単位以上、B表現研究領域から2単位以上およびC特定研究領域4単位の合計10単位以上を修得しなければならない	田中修二・伊藤博明		
映像理論特殊研究	2	1・2		川崎賢子		
写真史特殊研究	2	〃		1科目選択必修	古賀 太	
映画史特殊研究	2	〃			上倉 泉	
写真技術特殊研究	2	〃			大熊敏之・小林昭世・山中敏正	
映像技術特殊研究	2	〃			田中修二	
造形理論特殊研究	2	〃			山本雅男	
美術史特殊研究	2	〃			上田 薫	
デザイン史特殊研究	2	〃			瀬島久美子	
文芸理論特殊研究	2	〃			高久 暁	
文芸史特殊研究	2	〃			笠羽映子	
舞台芸術理論特殊研究	2	〃			寺脇 研	
演劇史特殊研究	2	〃			1科目選択必修	奥野邦利・齊藤裕人・鳥山正晴・松島哲也・中町綾子・星野 裕・森中愼也
メディア・コミュニケーション特殊研究	2	〃				鞍掛純一・笹井祐子・福島唯史・笠井則幸・佐藤 徹・森 香織・長瀬浩明
音楽理論特殊研究	2	〃				楊 逸
音楽史特殊研究	2	〃	萩原貴子			
芸術教育特殊研究	2	〃				
B. 表現研究領域						
映像表現特別研究	2	1・2	1科目選択必修	奥野邦利・齊藤裕人・鳥山正晴・松島哲也・中町綾子・星野 裕・森中愼也		
造形表現特別研究	2	〃		鞍掛純一・笹井祐子・福島唯史・笠井則幸・佐藤 徹・森 香織・長瀬浩明		
文芸表現特別研究	2	〃		楊 逸		
舞台表現特別研究	2	〃		萩原貴子		
音楽表現特別研究	2	〃				
C. 特定研究領域						
芸術研究特別演習	④	1～2		上田 薫・ソコロワ山下聖美・楊 逸・奥野邦利・鳥山正晴・松島哲也・古賀 太・笹井祐子・福島唯史・森 香織・伊藤弘之・川上 央・高久 暁・萩原貴子		
学位論文						

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 3年以上在学し、履修規定に則り10単位以上を修得すること
- ② 学位論文を提出し、最終審査および試験に合格すること

Ⅳ 入学金・授業料等納入金, 授業校舎について

1 2025 年度(令和7年度)入学者 入学金・授業料等納入金一覧

(単位: 円)

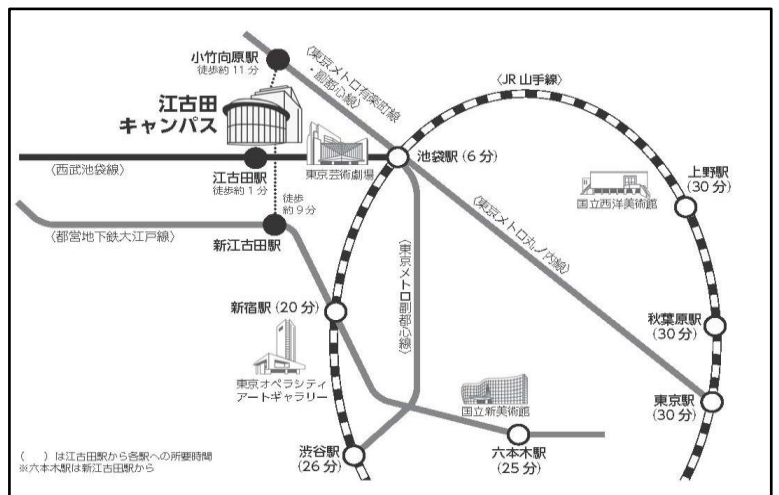
課程・専攻	納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備資金	実験実習料	校友会費 【准会員】	前学期計 後学期計	初年度 年額	2年次以降 年額		
博士 前期課程	文芸学	入学手続時(前学期)納入金	200,000	300,000	100,000	20,000	10,000	630,000	1,050,000	850,000	
		後学期納入金	—	300,000	100,000	20,000	—	420,000			
	映像芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	340,000	100,000	50,000	10,000	700,000	1,190,000	990,000	
		後学期納入金	—	340,000	100,000	50,000	—	490,000			
	造形芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	355,000	100,000	45,000	10,000	710,000	1,210,000	1,010,000	
		後学期納入金	—	355,000	100,000	45,000	—	500,000			
	音楽芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	355,000	100,000	55,000	10,000	720,000	1,230,000	1,030,000	
		後学期納入金	—	355,000	100,000	55,000	—	510,000			
	舞台芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	340,000	100,000	35,000	10,000	685,000	1,160,000	960,000	
		後学期納入金	—	340,000	100,000	35,000	—	475,000			
	博士 後期課程	芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	350,000	100,000	—	10,000	660,000	1,110,000	910,000
			後学期納入金	—	350,000	100,000	—	—	450,000		

※学内者（日本大学を卒業した者または日本大学大学院を修了した者）については入学金の納入はありません。

※修了予定年度の後学期に校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。

2 2025 年度(令和7年度)大学院芸術学研究科入学者の授業校舎

日本大学芸術学部（大学院芸術研究科）
〒176-8525
東京都練馬区旭丘 2-42-1
(池袋駅より西武池袋線各駅停車にて
江古田駅下車 北口より徒歩1分)



V 2025年度（令和7年度）芸術学研究科研究指導教授一覧

1 博士前期課程研究指導教授一覧

専攻	教員氏名
文芸学	青木敬士
	上田薫
	久保陽子
	ジュリアン マニング
	ソコロワ山下聖美
	楊逸
映像芸術	秋元貴美子
	佐藤英裕
	西垣仁美
	服部一人
	大谷尚子
	奥野邦利
	上倉泉
	古賀太
	齊藤裕人
	志村三代子
	玉木則順
	鳥山正晴
	増田治宏
	安部裕
	茅原良平
	小林偉
中町綾子	
星野裕	

専攻	教員氏名
造形芸術	福島唯史
	笹井祐子
	鞍掛純一
	田中修二
	池田光宏
	笠井則幸
	佐藤徹
	長瀬浩明
若原一貴	
音楽芸術	伊藤弘之
	大寺雅子
	萩原貴子
	川上央
	高久暁
	三戸勇氣
舞台芸術	奥山緑
	小沢徹
	小林直弥
	櫻井 勲
	中野成樹
	松永雅彦

- ◎ 各教員の専門領域の詳細は芸術学研究科ホームページ等を参照してください。
- ◎ 上表の内容は2024年5月現在のものです。今後、変更が生じる可能性があります。

2 博士後期課程研究指導教授一覧

研究指導領域	教員氏名
文 芸	上 田 薫
	ソコロワ山下聖美
	楊 逸
映 像	奥 野 邦 利
	上 倉 泉
	齊 藤 裕 人
	志 村 三代子
	玉 木 則 順
	中 町 綾 子

研究指導領域	教員氏名
造 形	福 島 唯 史
	笹 井 祐 子
	鞍 掛 純 一
	田 中 修 二
	笠 井 則 幸
	佐 藤 徹
音 楽	長 瀬 浩 明
	伊 藤 弘 之
	萩 原 貴 子
	川 上 央
舞 台	高 久 暁
	小 林 直 弥

- ◎ 各教員の専門領域の詳細は芸術学研究科ホームページ等を参照してください。
- ◎ 上表の内容は2024年5月現在のものです。今後、変更が生じる可能性があります。

【問い合わせ先】

日本大学芸術学部(芸術学研究科)教務課大学院係

〒176-8525

東京都練馬区旭丘 2-42-1

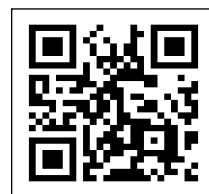
TEL : 03-5995-8202

Email: art.graduateschool@nihon-u.ac.jp

(事務取扱時間)

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00



日本大学芸術学研究科ホームページ